

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第 8 号を下記のとおり発表したの送付します。

令和 5 年度病虫害発生予報第 8 号

令和 5 年 10 月 31 日
岡 山 県

予報概評

作物名	病虫害名	発生量
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病	やや少
	べと病	やや少
	コナガ	やや多
	ハスモンヨトウ	やや多
	アブラムシ類	やや多

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 10月25日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月23、25日の巡回調査では発生を認めず、発生圃場率は平年(27.1%)より低かった。

ウ. 10月26日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(2) べと病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 10月25日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月23、25日の巡回調査によると、ハクサイでは発生を認めず、発生圃場率は平年(15.7%)よりやや低く、キャベツにおいても発生を認めず、平年(6.0%)並であった。

ウ. 10月26日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(3) コナガ

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は12頭で平年（8.4頭）よりやや多かった。

イ. 10月23、25日の巡回調査によると、ダイコンでは発生圃場率60.0%で平年（38.2%）よりやや高く、ハクサイでは18.2%で平年（6.2%）よりやや高く、キャベツでは発生を認めず平年（8.0%）並であった。

ウ. 10月26日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないとされており、本虫の発生を助長する条件である。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は1,956頭で平年（1,764.0頭）よりやや多かった。

イ. 10月23、25日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めなかった。

ウ. 10月26日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないとされており、本虫の発生を助長する条件である。

(5) アブラムシ類

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～5半旬の飛来数は329頭で平年（244.6頭）よりやや多かった。

イ. 10月23、25日の巡回調査によると、ハクサイ（平年2.8%）、キャベツ（平年0.0%）ともに発生を認めず平年並、ダイコンでは発生圃場率20.0%で平年（4.0%）より高かった。

ウ. 10月26日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないとされており、本虫の発生を助長する条件である。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

